

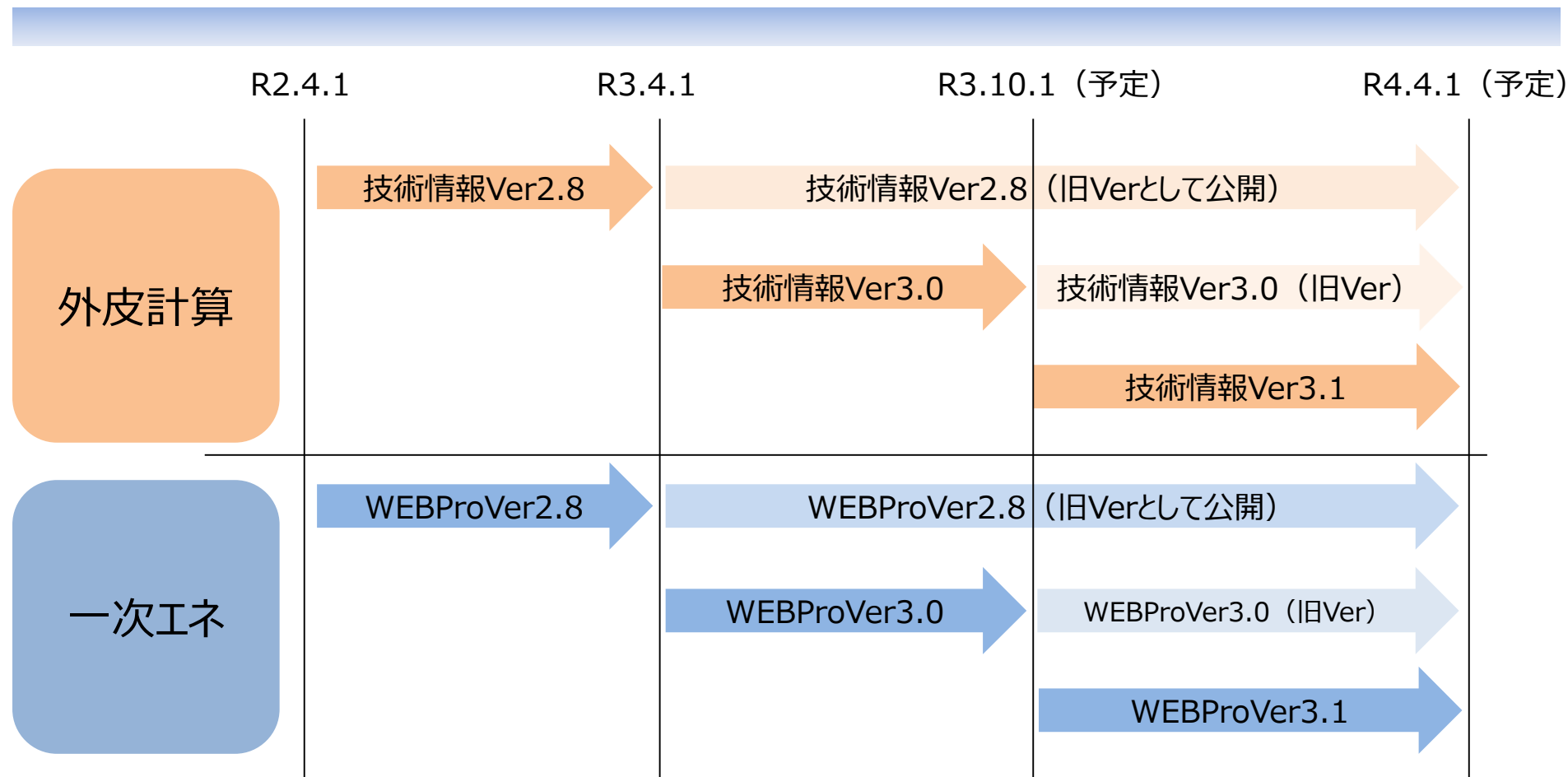
外皮性能計算に使用する開口部の建具とガラスの組み合わせ表について

(国研) 建築研究所 技術情報の更新に伴い、2021年3月31日をもって従前の建具とガラスの組み合わせ表※が削除されます。

※ (国研) 建築研究所技術情報2.1算定方法第三章第三節熱貫流率及び線熱貫流率 付録C 窓又はドアの熱貫流率 表3『窓の熱貫流率』および表8『ドアの熱貫流率』

ここでは2021年4月以降の経過措置について整理しておりますので、内容をご確認いただき、省エネ計算時にお間違えのないようご注意ください。

外皮性能計算と一次エネ計算WEBプログラム運用スケジュールについて



上記のように、2022年（令和4年）3月31日までは従前の建具とガラスの組み合わせ表※を使用し外皮計算をすることができます。

ただし、外皮計算に従前の表を使用する場合は、一次エネルギー消費量計算のための建築研究所WEBプログラムについても従前のバージョンを使用する必要がありますのでご注意ください。

※（国研）建築研究所HP 技術情報にて公開されているVer2.8における算定方法『熱貫流率及び線熱貫流率』付録B 表3および表8を指す

【参考】（一社）日本サッシ協会の取りくみ

（一社）日本サッシ協会（以下サッシ協会）では、JIS計算式に建築研究所が定めるデフォルト値を代入することで求められる性能値を令和3年度以降も使用できる仕様表として2020年5月よりHPにて公開しておりますのでそちらもご活用ください。

【窓】

<https://www.jsma.or.jp/Portals/0/images/sash/gijutu/20-0501.pdf>

【ドア】

<https://www.jsma.or.jp/Portals/0/images/sash/gijutu/20-0502.pdf>